

令和3年度保々中学校 学校アンケート結果と考察

内容	設問 ※ 設問に対する回答は、4（そう思う）、3（だいたいそう思う）、2（あまりそう思わない）、1（そう思わない）の4段階で評価	平均評価	4（そう思う）と3（だいたいそう思う）の評価の割合（%）				考 察
			1年生	2年生	3年生	全体	
確かな学力	生徒 学校の授業はわかりやすい。	3.3	98.0	87.8	96.3	94.1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の評価の「学校の授業はわかりやすい」は昨年度の93.0%から94.1%、「授業で学習したことは、将来の役に立つ」は92.4%から92.8%と昨年度とほとんど変わらず、高い数値となっています。 保護者の評価は79.4%から82.9%、教師の評価も85.7%から88.8%と上昇しました。ただ、保護者の評価「1（そう思わない）」と「2（あまりそう思わない）」を合わせると17%以上あります。 生徒の評価は、全体としては高い数値となっていますが、「わかりにくい」と感じる生徒もあり、その生徒への手立ても含め、継続して授業改善に努めていく必要があります。今後ともこれまで同様、わかりやすい授業をめざし、授業改善の取り組みを進めていきます。また、学習の意義や必要性等についても生徒たちに考える機会をつくっていきたくと考えています。
	生徒 授業で学習したことは、将来の役に立つと思う。	3.5	96.0	93.9	88.9	92.8	
	保護者 お子さんは、学校の指導を通して中学生として必要な学力を身につけてきていると思う。	3.1				82.9	
	教師 学校は、生徒の学力の向上を目指して適切な指導を行い、成果をあげている。	3.1				88.9	
学習評価	生徒 先生の評価によって、勉強についての自分の長所や課題がわかったり、やる気が出たりする。	3.3	94.0	83.7	87.0	88.2	<ul style="list-style-type: none"> 今年度、中学校では学習指導要領の改訂に伴い、評価観点が大きく変更されました。生徒たちには各教科でシラバス等をもとに説明し、評価してきました。その中で、生徒の評価は昨年度の84.2%から88.2%、保護者の評価は93.8%から94.3%と高い数値となりました。これは評価項目の変更が大きな不安なく、受け入れられたと考えます。 教師の評価も、81.0%から94.4%と上昇しており、昨年度から準備をしてきたことが不安なく、評価できる一因となっているように感じます。ただ、教師自身、研修の中でも、新しい学習指導要領がめざす評価を自分たちが適正にできているかどうかの検証の必要性を感じており、「生徒の自己学習力の向上」や「保護者への説明責任」「教師による指導と評価の一体化」がしっかりとできるよう、引き続き、評価のあり方について研修を積み、一層の教材研究、授業研究の上にたち、取り組みを進めていきたくと考えています。
	保護者 学校（先生）は、お子さんの学力や学習状況、努力の様子等について保護者に適切な説明を行っていると思う。	3.4				94.3	
	教師 学校は、評価結果をもとに、指導をやり直したり、教材を工夫したりするなど、指導と評価の一体化に取り組み、成果をあげている。	3.3				94.4	
キャリア教育	生徒 自分にはよいところがあると思う。	3.0	78.0	65.3	87.0	74.5	<ul style="list-style-type: none"> 「自分にはよいところがあると思う」は昨年度78.6%から74.5%へと下降しましたが、その他の「自分は、（まわりの人たちから）自分の存在や思いが大切にされていると思う」は82.8%から85.6%、「自分は、将来の夢や目標をもっている」は72.3%から73.2%、「自分は、自分からあいさつしている」は90.6%から93.5%、「自分は、ていねいに掃除や身の回りの整理・整頓をしている」は83.0%から85.6%、「自分は、時間や期限を守り、授業を大切にしている」は88.7%から93.5%と上昇しました。 逆に、保護者の評価は79.2%から72.9%と下降しました。「1（そう思わない）」と「2（あまりそう思わない）」を合わせると27%近くあります。また、教師の評価は76.2%から83.3%と上昇しました。 他の評価からすると、この項の生徒、保護者の70%台の評価項目が大きな課題となっています。今年度の全国学力・学習状況調査結果では全国平均が「よいところ」は76.9%、「将来の夢や目標」は80.3%となっており、全国と比較しても本校は低い数値となっています。 本校は長年、こども園や小学校、地域と連携し、「育ちのプログラム」をもとに合同研修会を開催し、取り組みを進めていますが、一昨年度からのコロナ禍により合同研修会が思うように開催できずにいることや、2年生の職場体験学習等、いくつかの体験学習が実施できなかったことなどもその一因と考えられます。キャリア教育は本校がこども園、小学校、地域とともに大切にできている取り組みです。本校でここ数年推進できている、キャリア教育の基盤となる「あいさつ」「掃除」「時間」の指導を今後も大切にし、常に見直しを図りながら、継続して取り組みを進めていきたくと考えています。
	生徒 自分は、（まわりの人たちから）自分の存在や思いが大切にされていると思う。	3.1	86.0	85.7	79.6	85.6	
	生徒 自分は、将来の夢や目標をもっている。	3.1	72.0	65.3	85.2	73.2	
	生徒 自分は、自分からあいさつしている。	3.5	92.0	93.9	81.5	93.5	
	生徒 自分は、ていねいに掃除や身の回りの整理・整頓をしている。	3.2	88.0	89.8	94.4	85.6	
	生徒 自分は、時間や期限を守り、授業を大切にしている。	3.4	96.0	93.9	79.6	93.5	
	保護者 お子さんは、学校の指導を通して将来の進路や今後の生き方について考えるようになってきていると思う。	3.0				72.9	
	教師 学校は、『育ちのプログラム』と関連させた重点・目標数値を学校づくりビジョンに定めて重点的に取り組み、キャリア教育の成果をあげている。	3.1				83.3	
人権・道徳・特別支援教育	生徒 自分は、いじめや差別は絶対にいけないと思う。	3.9	98.0	95.9	100	98.0	<ul style="list-style-type: none"> 生徒評価の「いじめや差別は絶対にいけないと思う」は昨年度96.2%、今年度98.0%と、ここ数年継続して高い数値を示しており、本校生徒はいじめや差別に対して、前向きに捉えていると考えます。また、保護者の2つの評価は92.4%⇒93.6%、92.4%⇒95.0%、教師の評価も85.7%⇒88.9%と昨年度より上昇し、継続して高い数値となっています。 一方、生徒評価の「学校へ行くのが楽しい」が88.7%から85.6%、特に2年生が77.6%と低い数値となっており、現2年生はコロナ禍により、職場体験学習ができないことに加え、今年度は中体連新人大会も中止となり、日々の活動や取り組みに目標やめあてをもちきれずいたり、さまざまな体験を経て培う粘り強さなどがつけきれないかたりすることが一因ではないかと考えています。 人権教育では、未熟な自分を自覚し、それを受け入れ、将来に向けて自分の課題を克服し力強く生きていこうとする生き方を獲得していく教育です。そのためには授業や学校行事、部活動等のあらゆる場面で生徒たちが自分自身を見つめ、悩み、学ぶ機会をつくり、成長を促していく必要があると考えています。教師自身、生徒を一人の人間として認め、共に学ぶ姿勢でさまざまな人権課題について語り合い、人権教育を進めていきたくと考えています。
	生徒 自分は、学校へ行くのが楽しい。	3.3	88.0	77.6	90.7	85.6	
	保護者 お子さんは、学校の指導を通して中学生として必要な人権感覚や道徳性を身につけてきていると思う。	3.3				93.6	
	保護者 学校では、生徒ひとりひとりが、自分の力を発揮して学習や様々な活動に参加していると思う。	3.3				95.0	
	教師 学校は、生徒の人権感覚や道徳的心情、実践力を育てるために適切な指導を行い、成果をあげている。	3.2				88.9	

内容	設問 ※ 設問に対する回答は、4（そう思う）、3（だいたいそう思う）、2（あまりそう思わない）、1（そう思わない）の4段階で評価	平均評価	4（そう思う）と3（だいたいそう思う）の評価の割合（%）				考 察
			1年生	2年生	3年生	全体	
規律ある生活習慣・生徒指導	生徒 自分は、学校のルールやマナーを守って生活することを心がけている。	3.6	96.0	98.0	98.1	97.4	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の評価は昨年度 94.3%から 97.4%、保護者の評価は 90.2%から 93.6%、教師の評価は 81.8%から 94.4%で、すべての評価で上昇し、安定して高い評価となっています。 ・学校においては、ここ数年、ほとんどの生徒が落ち着いて学校生活、家庭生活を送っており、大きな問題は起きていません。さまざまな場面で生徒たちに向けて、将来、社会で生きてはたらく力をつけるために取り組んでいくことの大切さや必要性を投げかけてきており、そのことが少しずつ生徒に浸透し、この結果に表れてきていると思われます。しかし、多くの生徒がルールやマナーを守って生活してはいるものの、まだまだ受身的に生活している様子が伺えるのが現状です。これまで大切にしている「あいさつ」「掃除」「時間」の取り組みを今後も継続し、生徒指導の面でもさらに成果が得られるようにしていきたいと考えています。
	保護者 お子さんは、学校の指導を通して中学生として必要な生活習慣やルール・マナーを身につけてきていると思う。	3.4				93.6	
	教師 学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立や規範意識・自立性の育成に向けて適切な指導を行い、成果をあげている。	3.2				94.4	
学校行事・学級生徒会	生徒 自分は、班・学級活動や生徒会・委員会活動、体育祭や文化祭などの学校行事に積極的に取り組んでいる。	3.5	96.0	93.9	94.4	94.8	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒評価が昨年度 92.5%から 94.8%、保護者評価が 93.9%から 95.7%、教師の評価も 81.8%から 88.9%とすべての評価で上昇し、安定して高い評価となっています。ただ昨年度に引き続き今年度もコロナ禍によりいくつかの行事が縮小され、中には中止を余儀なくされました。生徒たちや保護者の皆さんへは、その都度、ていねいに説明し、気持ちの切り替えや前向きに受け止め、今後に活かしていけるよう話してきました。結果、今年度も昨年度までと変わらず高評価となったと考えています。 ・高い評価ではあるものの、これまでに比べ、生徒たちに体育祭（中止）や文化祭、修学旅行や自然教室（日帰り2日）等の体験的な学習を十分にさせてあげられなかったこと等から、そういった活動を通して培うべき力を十分に付けられなかったという反省もあります。コロナと共に過ごす学校生活に、ある程度慣れてきた面もありますが、今後も、コロナ禍の中で、それぞれの活動の内容の精選と充実を進めつつ、生徒たちの気持ちも大切にしながら、自主性や主体性を育てる指導を継続し、よりよい活動ができるよう取り組みを進めていきたいと考えています。
	保護者 お子さんは、学級・生徒会活動や学校行事を通して友だちとの望ましい関係を深めたり、自主性、協働性、公共心などを身につけてきたりしていると思う。	3.1				95.7	
	教師 学校は、学級・生徒会活動、学校行事等を通して仲間づくりや生徒の自主性、協働性、公共心などを育成するために適切な指導を行い、成果をあげている。	3.2				88.9	
部活動	生徒 自分は、学校の部活動に積極的に参加している。	3.6	98.0	93.9	92.6	94.8	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒評価は昨年度 92.3%から 94.8%、保護者評価は 90.8%から 91.4%と、ともに上昇し、安定して高く評価されており、多くの生徒が意欲的に部活動に取り組め、保護者からも支持いただいていることが伺われます。 ・一方、教師の評価は、85.7%から 83.3%と少し下降しました。今年度は夏の中体連の大会は通常通りに開催されましたが、8月末からのコロナの爆発的感染状況により、約1か月間の部活動停止、中体連新人大会の中止があり、特に新チームのスタートがくじかれてしまいました。結果、活動のめあてや目標がうまく定められずに活動を余儀なくされたことも、教師の評価が下降した一因と考えています。令和5年度から土日の部活動は地域へ移行していくことが文部科学省から提示されました。四日市市においても準備を進められてはいますが、まだ具体的な方向性は定まってはいません。今後も、部活動のあり方を見直していく中で、学校として教員の業務分担の見直し等も行いつつ、充実した部活動運営に努めていきたいと考えています。
	保護者 お子さんは、学校の部活動を通して自主性や協働性、責任感や連帯感、ねばり強さなどを身につけてきていると思う。	3.4				91.4	
	教師 学校は、部活動を通して自主性や協働性、責任感や連帯感、ねばり強さなどを育成するために適切な指導を行い、成果をあげている。	2.9				83.3	
教育相談	生徒 学校には、自分の気持ちや思いを聞いてくれたり、悩みや心配ごとなどを相談できたりする先生やカウンセラーさんがいるので安心できる。	3.2	93.9	77.6	79.6	83.7	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒評価は昨年度 79.9%から 83.7%、保護者評価は 90.8%から 92.1%、教師の評価は 90.9%から 100%とすべての評価で上昇しました。今年度は1年生の評価がとても高いですが、2、3年生は70%台と低い数値となりました。特に3年生については、これまで担当していた教員の多くが異動等でなくなり、新たな職員との関係性の構築がままならなかったことが一因と考えています。2年生については、昨年度の 70.6%から 77.6%と上昇し、徐々に関係性が築かれていくことがうかがわれます。 ・しかし、個々に見ると「あまりそう思わない」「そう思わない」とする割合が依然として17%近くあり、日頃から各学年とも朝や昼休みなど学年教師を中心に声かけや生徒との会話の機会を増やす努力をしているものの、相談機会の拡充や効果的な相談に向けた改善が必要と考えます。今後も生徒との信頼関係の構築を大切にしながら、教育相談体制や相談のあり方等も検討し、少しでも生徒が相談しやすい状況をつくっていききたいと考えています。
	保護者 学校（先生）は、お子さんの思いや悩みなどを聞き取ったり、相談したりするしくみや雰囲気や適切に整えていると思う。	3.3				92.1	
	教師 学校は、生徒理解のために適切な教育相談を行い、成果をあげている。	3.4				100	
危機管理・安全な生活	生徒 自分は、病気やけが、災害や事故、犯罪の被害などにあわないようにするため、日頃から健康や安全に気をつけて学校生活を送っている。	3.5	92.0	91.8	88.9	90.8	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒評価は昨年度 91.2%から 90.8%、保護者評価は 98.5%から 98.6%、教師評価は 81.8%から 83.3%と、それぞれ上昇、下降があるものの、安定的に高い数値となっています。これは、ここ数年、校内において大きな事故や危険な状況が起きていないことや、日常的に病気やけが、事故等が発生した際に生徒への対応や保護者への連絡等をていねいにしていることをご理解いただいているのだと考えます。 ・一方、年3回実施する予定であった避難訓練が9月の臨時休校や天候の都合で実際に訓練したのは1回で、2回は講話による訓練にとどまったことなどが、教師の評価が少し下降した一因であると考えます。 ・今後も日常的な安全点検や危機管理をはじめ、防災教育の充実を図っていく必要があります。また、今年度も中止となった各地区の自主防災訓練への中学生の参加を、地域の一員としての自覚を促す指導と合わせて充実させていきたいと考えています。
	保護者 学校（先生）は、健康で安全・安心な学校づくりに努めていると思う。	3.5				98.6	
	教師 学校は、生徒の健康で安全な生活のために、必要な組織や体制を整えるとともに適切な指導や訓練等を行い、成果をあげている。	3.0				83.3	
地域との連携等	生徒 自分は、保々地区が好きだ。	3.5	94.0	87.8	90.7	90.8	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒評価は昨年度 92.5%から 90.8%、保護者評価は 97.7%から 95.7%、教師評価は 95.5%から 100%と安定して高い数値を示しています。昨年度から学校ホームページの日常的な更新を心掛けています。また、コロナ禍に関する情報や生徒たちの日常的な授業や活動の様子も学校だよりや学年通信、ホームページ、すぐメール等でていねいに発信してきていることが、安定的な高評価につながっていると考えます。 ・今年度も地域のほとんどの行事が中止となり、生徒が地域に向かう機会がほとんどない中、2年生が地域清掃奉仕活動をしたり、D組が地域の方の指導で園遊活動をしたりしてきました。今後も地域との関わりを大切に、コミュニティ・スクールも活用しながら、生徒の「自分は、保々地区が好きだ」という意識を持たせていきたいと考えています。
	保護者 通信・たより・ホームページ、電話連絡、家庭訪問、オープンデー、保護者懇談会などによって学校やお子さんの様子がわかりやすい。	3.4				95.7	
	教師 学校は、保護者や地域に学校や子どもの様子を知らせるために適切な取り組みを行い、成果をあげている。	3.5				100	